

ちいさなたね【幼児おたより】

うさぎ組・ひつじ組・ぞう組

2021年度 3月

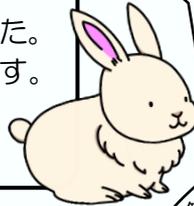
聖和乳幼児保育センター

「今日は〇〇ちゃんと〇〇くんと…」と毎日お休みの友だちを確認しながら過ごした2月でした。休んでいた友だちが登園すると、「〇〇ちゃん(〇〇くん)もきてくれたねえ」とお互いに喜び合っていました。友だちを思う気持ちがとても嬉しく、一人ひとりがクラスの中でかけがえのない存在であることをこれからも子どもたちと一緒に分かち合っていきたいと思えます。そうした大切な友だちと一緒にする集団ゲームは格別楽しいようで、ゲームをすることを伝えると「やったあ!!」とジャンプして喜びを表現しています。ゲームの内容によっては、勝ったり負けたりすることもあります。以前は負けて悔しくて泣いていたこともありましたが、今では負けても「またしよう!」と次へ気持ちを切り替えていく心の成長も見られます。ゲームの時間が終わると、「早く明日になってまたすぐやりたいね」と言っている子どもたちです。

うさぎ組での生活も残り1か月、ここまで心も体も大きくなりました。今では「もうすぐひつじぐみさん!!」と胸を張って過ごす日々です。一つひとつの成長を具体的に伝え、喜び合いながら嬉しい楽しい毎日を大切に過ごしていきたいと思います。

寒さの厳しい日が続き、手が寒さや乾燥で赤くひび割れてしまったのを見て、担任が「それは、“あかぎれ”だね」と子どもたちに話していました。

ある日、『パンドロぼう』という絵本を見ているとお話の中でネズミが頭をかじられて赤くなっている場面がありました。それを見て「“あかぎれ”になってるわ」とAちゃん。Bちゃんも自分の手を見せて「これと一緒にだね!」と言っていました。覚えた言葉を使ってみたい子どもたちです。かわいいですね!!



ひつじ組での生活もあと1か月となりました。戸外では、鬼ごっこや転がしドッチボール、リレーなど、寒い中でも体を思いきり動かして元気に遊んでいます。その中で、お互いの主張が譲れずトラブルになることもあります。しかし、「じゃあ、どうする?」と一緒に遊んでいる仲間が集まって、どうすればいいかを考え、自分たちで解決しようとする姿が見られるようになり、成長を感じています。これからも自分の思いを相手に伝え、友だちの思いも受けとめながら、友だちと一緒に遊ぶことの喜びや楽しさをたくさん感じて過ごしてほしいと思えます。

また、戸外遊び後の手洗いやうがいを丁寧にしたり、次に使う人のためにおもちゃや絵本の片付け方を考えたりなど生活の仕方や必要性が分かるようになり、「~したから~しよう」「~するから~しよう」と考え、身の回りのことを進んでしようとする姿が見られるようになってきました。「もうすぐ、ぞうぐみ!」と年長児になることを意識し始め、張りきって過ごしている子どもたちです。大きくなった喜びと期待と自信を持って進級できるように残りの日々も大切に過ごしていきたいと思います。

ランチルームに雛人形が飾られたのを見て、とても喜んで見ていた子どもたち。

担任「これは三人官女、何か知ってるかな?」

Aくん「さんにな、きょうだい!」

担任「じゃあ、これは(五人囃子)?」

Bちゃん「ごにんかぞく!!!!」

確かにみんな顔は似ています。子どもらしい表現でとてもほっこりしました。



ぞう組での生活も、残すところ1か月となりました。これまで、友だちや保育者と一緒にたくさんの経験を重ね、ここまで大きく成長してきた子どもたちです。保護者の元を離れ、しあわせの村で過ごした『お泊まり保育』や、力を合わせて頑張った『運動会』、みんなでクリスマスのうれしい出来事を伝えた『ページェント』などの行事をはじめ、日々のドッチボールやリレーなど、数えきれない思い出を懐かしみ、「楽しかったね!」と笑い合う姿も見られています。卒園までの日々は、こうした思い出を振り返りながら、これまでお世話になってきた方々や、異年齢の友だちにプレゼントを作ったり、お別れの言葉を考えて伝えたりと、今、自分たちができることで、感謝の気持ちを伝えられるように準備をしていきたいと思えます。残り少ない日々となり、寂しさも感じますが、何事にも前向きに楽しんで取り組む姿に励まされています。保育センターでの最後の一日まで、笑顔いっぱい過ごしていきたいと思います。

4人で机上ゲームをしながら話をしていた時のこと。

Aくん「このあいだな、外国のお菓子買ってもらってん」

保育者「どこのお店で買ったの?」

Aくん「薬局に行った時に買ってもらってん」

Bくん「え!?そこめっちゃ寒い所やん。お菓子売ってたん?」

Cくん「いやいや、それは南極やろう?」

Aくん「が言ってるのは薬局やで」

Bくん「そうか!?まちがえたわ」

何とも言えない子ども同士のやりとりの様子に成長を感じる担任でした。

